

水素利活用の先進地視察会

主催
岩手県

岩手県では、再生可能エネルギーによる電力自給率の向上に向けた取組を行っており、その一環として、再生可能エネルギーの最大限の導入に向け、水素利活用の取組を進めていくこととしております。

この度、水素エネルギーの理解増進と水素利活用に向けた機運醸成を図るため、東北で水素の利活用が進んでいる宮城県を訪問し、水素ステーションや水素エネルギー発電設備などの水素関連施設・設備の視察を内容とした視察会を開催しますので、ご案内申し上げます。

日時 平成30年11月6日(火) 9時～16時45分 **定員** 20名(先着順)

視察場所・行程

時間(予定)	内容
9:00	岩手県庁(盛岡市内丸10-1) 集合・出発 ※集合場所 岩手県庁 正面玄関前駐車場
11:30～12:00	①イワタニ水素ステーション宮城仙台 (仙台市宮城野区幸町4丁目8-10) ☞岩谷産業(株)が整備した商用の水素ステーション(燃料電池自動車(FCV)等にその燃料となる水素を供給する施設)です。オフサイト型で、水素は施設外から輸送して貯蔵しています。 ②セブン-イレブン仙台幸町四丁目店 純水素型燃料電池 (仙台市宮城野区幸町4丁目8-15) ☞「イワタニ水素ステーション宮城仙台」に隣接し、同施設から供給された水素を燃料として、発電した電気を店舗の電力の一部として活用しています。
12:00～13:00	昼食(エスポールみやぎ)
13:00～13:15	③宮城県保健環境センター スマート水素ステーション (仙台市宮城野区幸町4丁目7-2) ☞本田技研工業(株)と岩谷産業(株)が共同開発したパッケージ型の小型水素ステーションです。太陽光等の再生可能エネルギーで生み出した電気を使って水素を作り、FCVに水素を充填することができます。
13:45～14:15	④楽天生命パーク宮城 水素エネルギー発電設備(H2One) (仙台市宮城野区宮城野2丁目11-6) ☞太陽光等の再生可能エネルギーを利用して、水素を「つくり」、「ためて」、電気として「つかう」ことができます。発電した電気は、環境負荷の低減や災害対応能力の強化のため球場内で利用されています。
16:45	岩手県庁 解散

【視察に当たっての留意事項】

※施設場所へは、貸切バスで移動します。(バス移動中は、バス会社が加入する保険が適用されます。)

※参加料は無料ですが、昼食代として1,000円(税込)を各自ご負担いただきます。

※視察の進行状況や交通事情により、解散時刻が前後する場合がありますので、予めご了承願います。

申込方法 (締切 10月22日(月))

必要事項を御記入の上、FAXまたはメールにてお申し込みください。

なお、申込後にやむを得ず参加できなくなられた場合は、速やかに御連絡をお願いします。

FAX 019-629-5334 E-mail AC0001@pref.iwate.jp

企業・団体名			
ご連絡先	TEL	E-mail	
ご参加者	(所属)	(役職)	(氏名)
	(所属)	(役職)	(氏名)

※ご記載いただいた個人情報については、本セミナーの目的のほか、他のセミナー等のご案内を差し上げるために使用される場合があります。

お問い合わせ先 岩手県環境生活部環境生活企画室 小原 電話:019-629-5273